

## 1 研究主題

情報社会に主体的に生きる力を育む研究と実践 —教育の情報化の推進を通して—

## 2 実践活動

### (1) 第1回市教育研究集会

- ① 日時 平成31年4月11日(木) 14:50~16:40
- ② 場所 八幡浜市立八代中学校
- ③ 内容
  - ア 役員・授業者選出
  - イ 今年度研究主題について
  - ウ 研究計画の作成

### (2) 夏季実技研修会

- ① 日時 令和元年7月23日(火) 9:00~11:00
- ② 場所 八幡浜市立千丈小学校
- ③ 講師 八幡浜市立千丈小学校 前田 英隆 教頭
- ④ 内容

ア プログラミング教材、「micro:bit」について

「micro:bit」を使って、本体にあるLEDライトを光らせたり音を鳴らしたりした。プログラミングの内容が多彩で、小学生でも比較的簡単に取り組むことができると感じた。

イ 啓林館のプログラミング教材について

5年生算数「整数」「正多角形の作図」をプログラミングで行った。子どもに教えるときには、紙などにプログラムを書くなどすると、分かりやすいと感じた。

### (3) 第2回市教育研究集会(授業研究・実技研修)

- ① 日時 令和元年11月6日(水) 13:30~16:30
- ② 場所 八幡浜市立千丈小学校
- ③ 授業者 八幡浜市立千丈小学校 松本 啓進 教諭  
講師 (株)ソフトバンク
- ④ 内容

ア 授業研究について(第3学年 社会科 ~店ではたらく人~)

本時は、「True True(トゥルートゥルー)」という小型ロボットを使って「買い物シミュレーション」をプログラムし、「地域には販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えている」という内容の理解を深める実践だった。

イ 実技研修について(「Pepper」を使ったプログラミング教育)

「Pepper」を用いたロボット・プログラミングを研修した。「Robo Blocks」によるプログラミングのルールを学び、「Pepper」を動かしたり話させたりした。

## 3 成果と課題

今年度は、プログラミング教育について研修や研究授業を行った。来年度から始まるプログラミング教育に向けて、様々なソフトウェアがあることを知り、その活用法を理解することができた。また、教科の中にどのようにしてプログラミング教育を位置づけていけばよいのかを考えることができた。まだ、ハードウェア面に課題があるが、アンプラグドのプログラミング教育を視野に入れて指導に当たるなど工夫していく必要がある。今後は、授業に生かせるアイデアをみんなで共有していくことが大切である。